

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

# AWS Parallel Computing Service ( PCS ) サービスレベルアグリーメント

最終更新：2024年8月15日

本AWS Parallel Computing Service ( PCS ) サービスレベルアグリーメント（「SLA」）は、AWS Parallel Computing Service（「AWS PCS」）の利用に適用される方針であり、AWS PCSを利用する各アカウントに個別に適用される。本SLAの契約条件と、[AWSカスタマーアグリーメント](#)または利用者による本サービスの利用に適用される当社と利用者との他の契約（「本件契約」）における契約条件との間に齟齬がある場合は、かかる齟齬の範囲に関してのみ、本SLAの契約条件が適用される。本SLAにおいて使用する用語（英文では大文字で始まるもの）のうち、定義されていないものは、本件契約で定められた意味を有するものとする。

## SLA

AWSは、各AWS PCSクラスターを、毎月の請求期間において、以下の表に示す月間稼働率で利用可能にするため、商業上合理的な努力を払う（「AWS PCS SLA」）。AWS PCSがAWS PCS SLAを満たさない場合、利用者は以下のとおりサービスクレジットを受け取ることができる。

### 月間稼働率

99.9%以上、99.9%未満

95.0%以上、99.0%未満

95.0%未満

### サービスクレジット

サービスクレジットは、SLA（該当する場合）が満たされなかった月次請求期間について、影響を受けたAWSリージョン内で、影響を受けたAWS

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

PCSクラスターに対し利用者が支払った料金総額の定率として計算される。サービスクレジットは、AWS

PCSについて今後請求される支払いに対してのみ適用できる。当社はその裁量において、利用不可状態が発生した請求期間の支払いの際に利用者が使用したクレジットカードに対して、サービスクレジットを発行することができる。サービスクレジットは、利用者に対し、AWSから返金その他の支払いを受ける権利を与えるものではない。サービスクレジットは、該当する月次請求期間の当該クレジット金額が1米ドル（\$1

USD）を超える場合のみ適用され、発行される。サービスクレジットは譲渡できず、また他のアカウントに充当することはできない。本件契約に別段の規定がない限り、AWS

PCSの提供における当社の利用不可状態、パフォーマンスの不実行、その他不履行が生じた場合の利用者の唯一かつ排他的な救済は、本SLAの契約条件に従いサービスクレジット（該当する場合）を受け取ることである。

## クレジットの請求および支払手続

サービスクレジットを受け取るには、[AWSサポートセンターでケースを作成する](#)ことにより、請求（リクエスト）を提出する必要がある。利用者は、インシデント発生後、2回目の請求期間の末日までに、以下の情報を添えてクレジットのリクエストを当社に提出しなければならない。

- 件名に「AWS PCS SLA Credit Request - Claim (AWS PCS SLAクレジットリクエスト - 請求)」という文言
- 利用者が請求する各利用不可インシデントの日時
- 影響を受けたAWS PCSクラスターエンドポイントの一または複数のAWS PCS IDおよび一または複数のAWSリージョン
- エラーを記録し、サービス利用者が主張する停止を裏付けるリクエストログおよびその他の情報\*\*

\*\*機密情報または機微性の高い情報はアスタリスク(\*)で置き換えること。

適用されるSLAに基づく請求が有効であることを当社が確認した場合、当社は、利用者のリクエストを当社が確認した月の翌請求期間内に利用者に対してサービスクレジットを発行する。

上記要件を満たすリクエストおよびその他の情報を提供しなかった場合、利用者はサービスクレジットを受け取る権利を失う。

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

## AWS PCS SLA例外事由

本SLAは、(i) 不可抗力事由またはAWS

PCSの責任分界点を超えるインターネットアクセスもしくは関連する問題を含む、当社の合理的支配の及ばない要因に起因する、(ii)

利用者の行為または不作為（クラスターの再起動、クラスターのバージョンのアップデート、クラスターの構成のアップデート、セキュリティグループの無効化、VPC設定またはEC2起動テンプレートの変更または誤設定、Slurmのソースコードのドキュメント化されていないバグの利用など）に起因する、(iii) [AWSサイト](#)のAWS

PCS技術ドキュメントに記載されたガイドラインおよびベストプラクティスに従っていないことに起因する、(iv)

利用者の装置、ソフトウェアもしくはその他のテクノロジーに起因する、または、(v)

本件契約に従った、AWS

PCSを利用する利用者の権利の停止または終了に起因する、いかなるAWS

PCSの利用不可状態、停止もしくは終了、またはその他のAWS

PCSのパフォーマンス上の問題（総称して「AWS PCS

SLA例外事由」）にも適用されない。当社の月間稼働率の計算に使用される要因以外の要因が可用性に影響を与えている場合には、当社はその裁量において、かかる要因を考慮してサービスクレジットを発行することができる。AWS

PCSクラスターに接続されたEC2インスタンスの可用性は、[Amazon Compute SLA](#)の対象となる。

## 定義

- 「AWS PCSクラスター」とは、AWS PCSサービスを通じてプロビジョニングするクラスターをいう。
- 所定のAWS PCSクラスターの「月間稼働率」は、月次請求期間中において、AWS PCSクラスターが利用不可状態となっていた1分間のインターバルのパーセンテージを100%から減じて計算する。利用者が月の一部期間のみAWS PCSクラスターを稼働させていた場合、稼働していなかった部分のAWS PCSクラスターは100%利用可能であると想定される。月間稼働率の測定では、AWS PCS SLA例外事由に直接または間接的に起因する利用不可状態を除外する。
- 「サービスクレジット」とは、対象となるアカウントにクレジットされる、上記の規定により計算されたドル建てのクレジットをいう。

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

- 「利用不可」および「利用不可状態」とは、該当するAWS PCSクラスタのエンドポイントへのすべての接続リクエストが1分間のインターバル中に失敗する状態を意味する。